

“地域Smile集まる居場所づくり プロジェクト・世代間交流2017”

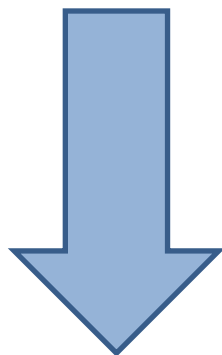
～世代間交流を考察する・地域サポーターズ聖笑の活動を通して～

聖和学園短期大学
介護福祉士養成課程
地域サポーターズ聖笑(せいしょう)

はじめに

異世代間が同じ生活空間や、
文化を共有する機会が減っている

高齢者と若い人



の交流が減る

礼儀作法・昔の歴史等を学ぶ機会が減る

研究目的及び方法

(研究目的)

- 活動を整理し、今後の課題を見つける。
- 参加者のサロン活動への声を再確認する。
- 多くの人にサロン活動を知ってもらう。

(方法)

- 過去の活動記録から活動状況を調べる
- 現在の活動を振り返る
- 高齢者予備軍の老後の意識調査

世代間交流とは

- 地域において、高齢者・障がい者・児童など
の間で行われる交流活動のこと。
- 地域や世代を超えて交流し、仲を深める。



季節行事

レクリエーション

地域サポーターズ聖笑とは

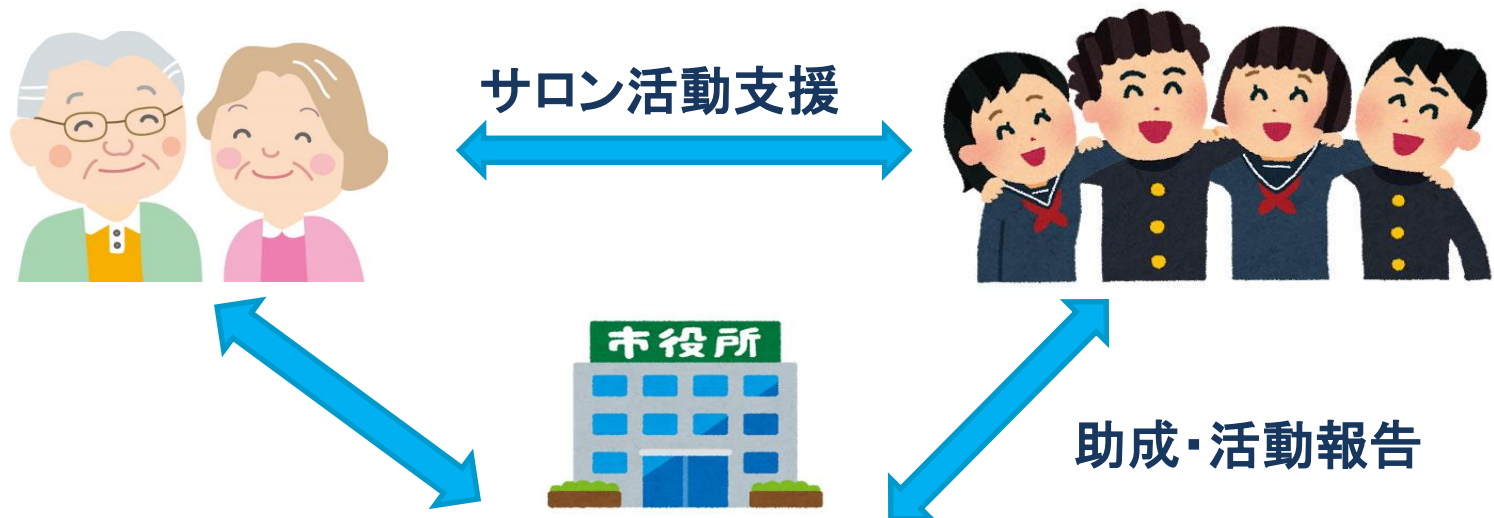
いずみ絆プロジェクトの活動をきっかけに、短大周辺地域に貢献するために平成24年に結成されたボランティアチーム。

『地域サポーターズ聖笑』の歴史

平成24年	『介護福祉士養成課程1年生の会』という名前で活動開始。 結成当初は1年生のみでの活動。
平成25年	互いに笑顔になれるようにという由来から『地域サポーターズ聖笑』に改名。 1・2年生での活動。

いずみ絆プロジェクトとは

- 主 催→仙台市泉区
- 実施主体→泉区内及び周辺の大学・学生団体
- 活動目的→地域課題の解決・地域活性化
特色のある地域づくり



対象地域

▶館地区・南中山地区・北中山地区

対象者

▶主に対象地域で生活しており、老人クラブなどの活動に参加している60代～90代の高齢者。

平成24年～平成28年の活動内容

平成24年	9月	みやぎ夢燈火
	12月	南中山地区 食事会
平成25年	3・12月	南中山地区 食事会
	6・9・12月	館地区 サロン活動
	9月	みやぎ夢燈火
平成26年	2・5・6・9・12月	館地区 サロン活動 祭り
	2月	泉5大学まちづくりフェスティバル
		南中山地区 食事会
平成27年	2・6・7・9・10・12月	館地区 サロン活動 食事会
	2月	南中山地区 食事会
	9月	みやぎ夢燈火
	11月	北中山地区 芋煮会
平成28年	6・7・10・12月	館地区 サロン活動
	12月	南中山地区 食事会

平成28年度の振り返り

- どの活動も参加者に楽しんでいただけていた。
- 学生間での情報共有ができていなかった。

平成29年度の目標

- 1.楽しんでもらえる企画を提供。
- 2.報告・連絡・相談の強化。
- 3.後継者の育成。

平成29年度 活動状況

06月12日(火) 館地区・老人クラブ

「カトレアクラブ」食事会&交流会Vol.1

12月09日(土) 南中山地区・食事会

06月12日(火) 館地区・老人クラブ

「カトレアクラブ」食事会&交流会Vol.2

平成30年予定

02月24日(土) 南中山地区・食事会

02月24日(土) 館地区

「カトレアクラブ」「ヒマワリクラブ」サロン活動

平成29年の活動

南中山地区での活動

平成29年 12月9日 食事会

▶参加者 約40名

▶学生 13名(社会福祉系 1・2年生10名)
3名(ボランティアサークル3名)



**クリスマスツリー
を作ってるよ**



**水戸黄門の体操
をしてるよ♪**



カトレアクラブとの活動

平成29年6月6日(火) 聖和短大での食事会

- ▶参加者 13名(男性7名 女性6名)
- ▶学生 22名(社会福祉系1・2年生)

歌をうたってます♪



手遊びをしてるよ



カトレアクラブとの活動

平成29年12月12日(火)

聖和短大での食事&交流会

- ▶参加者 8名(男性4名 女性4名)
- ▶学生 21名(社会福祉系1・2年生)
 - 4名(ファッション系)
 - 9名(初任者研修)

▶参加者 8名(男性4名 女性4名)

【1日の流れ】

	内 容
10:35	カトレアクラブ到着
10:50	挨拶
10:55	アクティビティ(ゲーム・ネイル&マッサージ・絵手紙に分かれる)
11:40	お手洗い・移動
12:00	昼食
12:30	お手洗い・移動
12:38	体操
12:48	アンケート
12:55	写真・挨拶
13:00	解散

❁ 活動風景 ❁

絵手紙教室

参加者さんに絵手紙を教えていただき、年賀状を作成しました！



素敵な作品が
完成しました！



ゲーム

ぐらぐらゲームをしてるよ！
倒れないように気を付けて☆



金メダルゲット！！

ネイル・リラクゼーション



介護の学生による
リラクゼーション

他ゼミの学生にかわいい
ネイルをしてもらったよ♡



昼食



体操



参加者からの声

●絵

→学生が素直で、教えていて楽しかった。

●ネイル・リラクゼーション

→楽しかった。嬉しかった。
若い気持ちになれた。

●ゲーム

→楽しかった。頭を使った。
もう少し難しくてもよかった。

●その他

→これからも氣力を失くさず参加したい。

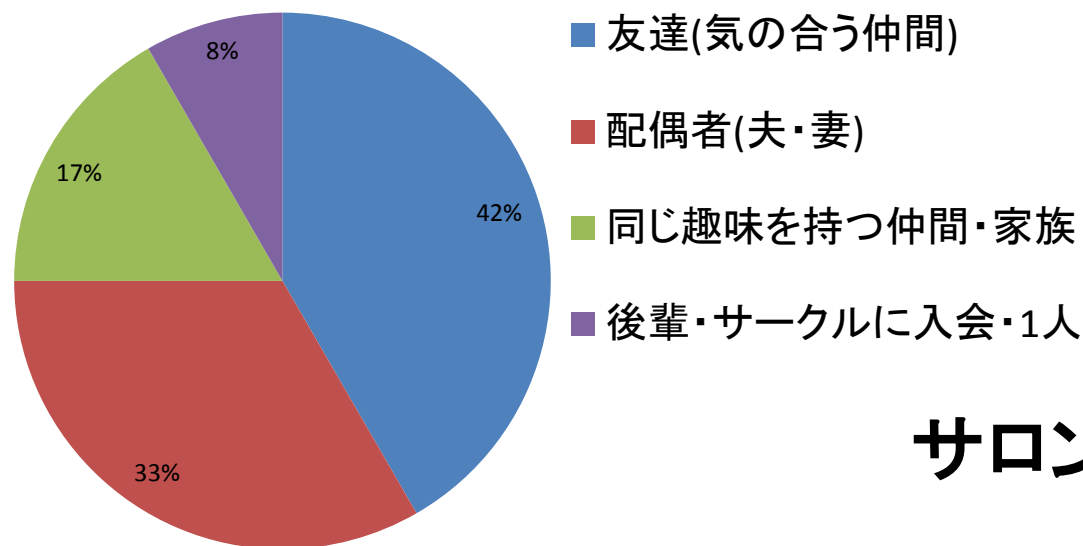


今後高齢者になる方は老後について
どのように考えているのか？

老後、どのような余暇活動を行いたいのか

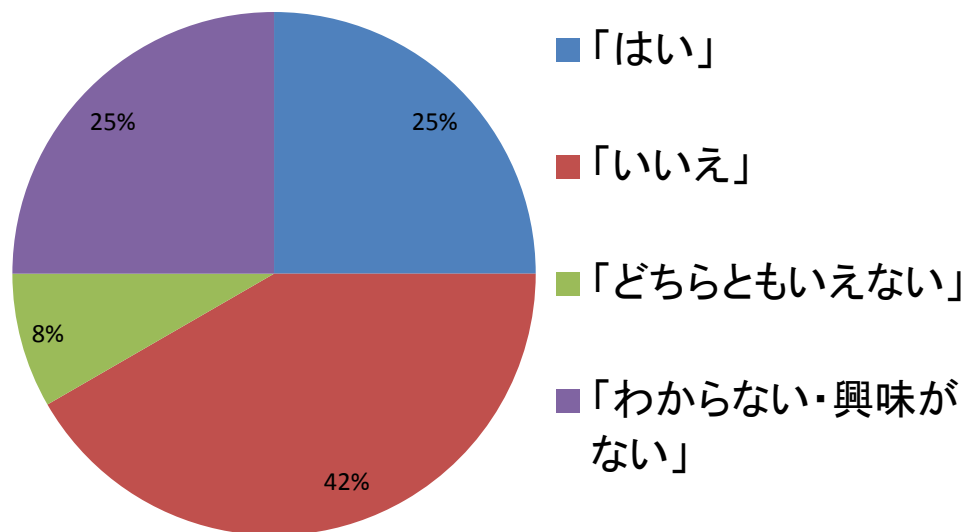
アウトドア	旅行・ディズニーランド・世界一周クルージング・コンサート・スキーに行きたい	9件
趣味	楽器の演奏・手芸・菜園や園芸・カメラ・ダンス・釣り・朗読のサークルに入って勉強や活動をしたい	9件
健康	健康のため体を動かす・散歩	2件
人との交流	食べ物の情報交換をしたい・友達とランチやお茶する	3件
楽しみ	毎晩晩酌したい	1件
インドア	インドア派的なこと	1件

誰と余暇活動を行いたいのか



【教員・両親12人に実施】

サロン活動に参加したいか



【教員・両親12人に実施】 26

考察

- サロン活動を通して、地域で暮らす高齢者の余暇時間の多さや人との交流が薄れていくことを学んだ。そのことから、サロン活動等の介護予防・世代間交流ができる場所が必要だと分かった。
- 活動を通して、先生方・地域の方・学生間での連携をもとに計画・実施する難しさと大切さを知った。
- 参加者・高齢者予備軍からのアンケートの結果や、活動の振り返りから今後の活動をより良くしていけるよう、後輩に引き継ぐ。

課題

- 大学に招いての参加人数を増やすための検討。
- 他分野を学ぶ学生とのコラボレーションの継続。
さらに協力・連携できる学生や団体を増やしていく。
- 高齢者が参加するだけでなく、高齢者の持つ能力を活かし学生も学ぶ機会をつくる。

ご清聴ありがとうございました。

